



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141

春休み号



3月19日(火)に、南林間小学校第50回卒業証書授与式を行うことができました。卒業生99名は、堂々と卒業証書を受け取り、6年間の学校生活を充実したすがすがしい顔をして、校舎を後にしました。

今年度は、学校創立50周年の節目となりました。地域の方々や保護者の方々など、学校を見守る温かな眼差しを感じた1年でした。今年度の卒業生も、地域の方々や保護者の方々など、日頃から見守ってくれる方々に感謝を感じ、「思いやりの心」など本校の校風や伝統を立派に引き継ぎ、在校生にバトンをつないでくれたことと感じています。4月には、新入生が本校の仲間として加わり、再び、学校には心躍る春風が吹き込んできます。

子どもたちの成長した姿にふれるにつけ、みなさまへの感謝の気持ちを感じると同時に、職員全員が励まされているところです。

今年度、保護者のみなさま、地域のみなさまからは、本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

(校長 大谷 幸司)



今年度の修了式を無事に迎えることができました。今年度を振り返ると、コロナ禍での様々な制限から解放され、運動会や学習発表会、創立50周年の式典を皆で集って過ごせたことが何よりも心に残っています。特に50周年という大きな節目を子どもたちだけでなく保護者の皆様、地域の皆様と祝えたことは大変喜ばしいことでした。

先日、記念誌が完成し、子どもたちに配りました。学校の様子だけでなく、地域の歴史や地理、ゆかりのある商店等、様々な資料が満載で、社会や理科などの副読本として授業で使えるものとなっています。その中に、子どもたちが考えた100年後の南林間小のイラストがあります。よく見ると100年後も「思いやり」の石がしっかりと描かれています。「思いやり」の石が南林間小のシンボルとして大事にされていることがとても嬉しかったです。今までの50年間、「思いやり」の心を受け継ぎ育ててきたからこそ、子どもたちの心にしみわたっているのだと思います。私たちもその心をこれからの50年、100年とつないでいかなければなりません。来年度も、子どもたちが人の喜びや痛みを受け取れる感性を養い、人を思いやる心を育てていけるよう職員一同取り組んでまいりたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様の多大なるご理解とご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。そして来年度もまた、南林間小の発展のためお力添えいただきますようお願い申し上げます。(教頭 壺井 里英)